

# APNIC 60 参加報告

慶應義塾大学 原哲平





- 自己紹介
- 本カンファレンスの概要
- なぜ参加したのか
- 参加したセッション
- 特に印象に残ったセッション
- 今回の経験をどう活かしたいか
- 参加支援プログラムに対する所感



### 自己紹介

#### 原 哲平

- •慶應義塾大学 環境情報学部 2年
- · 村井合同研所属

- ・興味がある分野
  - 移動体通信(モバイル通信)
  - IoT向け通信(BLE, LPWA)
  - ネットワーク(IPv6)

### 本カンファレンスの概要



APNIC 60 ダナン, ベトナム

参加期間 9/8 ~ 9/11







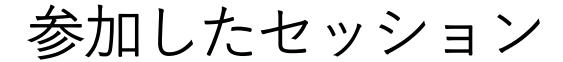
- ・ネットワークの運用の問題や新たな技術について知見を深める
  - →実際にインターネットを運用しているISP, IXPの方から話を聞く
- ・インターネットに関するポリシーや技術標準がどのように議論され、 意思決定が行われるのかを実体験する
  - →Policy SIGへの参加

### 参加したセッション

### 9/8 - Conference Day 5

- APStar Meeting
- APIX Meeting







### 9/9 - Conference Day 6

- Newcomers Welcome
- APNIC Opening Ceremony & Keynotes
- Networking Protocols Technical Session 1
- NIRs and APNIC in the Next Decade: Strengthening Roles, Collaboration, and Innovation - NIR SIG
- NextGen Navigator BoF
- Welcome Social

### 参加したセッション



### 9/10- Conference Day 7

- ICP-2 Review RIR Governance Document Consultation
- Network Operations Technical Session 3
- Open Source Technologies Technical Session 4
- APNIC / FIRST Security 2
- Lightning Talks
- ・ APNIC fellowshipの方との交流

### 参加したセッション



### 9/11 - Conference Day 8

- Unraveling Network Attacks: Mastering Network Threat Detection and Defense
- Practical insights with Zeek and MITRE ATT&CK Tutorial
  - Open Policy Meeting Policy SIG 1
  - Open Policy Meeting Policy SIG 2
  - APNIC Member Meeting 1
  - APNIC Member Meeting 2
  - Closing Social





#### APIX Meeting

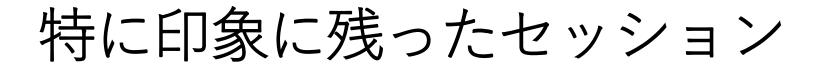
- アジア太平洋地域のIXP が参加し、交流やピアリングを 促進する協会
- 実際にIXPを運営する団体が採用している技術や直面している 課題に関する報告は、極めて興味深いものであった。





### Networking Protocols - Technical Session 1

- Jonathan Brewer氏による、ニュージーランドでのGISを活用したネットワーク運用に関する発表
- 「回復性(Resilience)」という新たな視点
- Geoff Huston氏による、QUICプロトコルに関する発表
- 日本特有のネットワーク環境での問題





Networking Protocols - Technical Session 1

- Maria Matejka氏による、技術文書や教育資料における IPv6の扱いに関する発表

- 「The neglected younger sibling(無視された弟)」





Open Policy Meeting - Policy SIG 1 & 2

- prop-164及びprop-165がコンセンサスに至るか注目
  - → 最終的にいずれも見送りとなった
- 単に反対するのではなく、提案者にフィードバックを行う
  - → 建設的な議論につながる





- IPv6への移行の重要性
- 単一の努力ではなく、すべてのネットワークが取り組む課題
- ベトナムが2032年までに、IPv6 Onlyのネットワークに移行
  - →日本も追従していかなければならない

- サイバーセキュリティ分野の課題
- 多様化する脅威に対しての様々な対策



### 今回の経験をどう活かしたいか 📉

ポリシーや技術がどのように議論され、意思決定が行われるのかを実体験する

- 様々なステークホルダー間の利害調整

- 国籍・職業のバックグラウンドが異なる人との交流

## 参加支援プログラムに対する所感が

本支援プログラムの参加にあたり、参加前の情報交換会及び会期中の支援、渡航費用など、多大なる支援をJPNIC様から頂きました。この場で感謝申し上げます。



# THANK YOU